

モリブデン真空熱処理炉

商品番号: KT-VM



前書き

ヒートシールド断熱材を備えた高構成モリブデン真空炉の利点をご覧ください。サファイア結晶成長や熱処理などの高純度真空環境に最適です。

[詳細を学ぶ](#)

炉モデル	KT-VM
最高温度	1400 °C
定常稼働温度	1300 °C
チャンパー断熱材	モリブデンヒートシールド
発熱体	モリブデンストリップ
昇温速度	0-10°C/分
温度センサー	S型熱電対内蔵
温度コントローラー	PLC付きタッチスクリーンPIDコントローラー
温度制御精度	±1°C
温度均一性	±5°C
電源	AC110-440V、50/60HZ

標準チャンパーサイズ在庫

チャンパーサイズ (mm)	有効容積 (L)	チャンパーサイズ (mm)	有効容積 (L)
150x150x200	4.5	400x400x500	80
200x200x300	12	500x500x600	125
300x300x400	36	600x600x700	253

お客様の設計サイズと容積も承ります

炉チャンパー

- チャンパーの内部表面の明るさを定期的に点検してください。
- 酸化や製品の汚染を防ぐため、チャンパー内の乾燥と清潔さを確保してください。
- 断熱スクリーンの熱膨張による変形を引き起こす可能性のある急速な昇温速度を避けてください。
- 加熱を開始する前に、漏れ率と到達真空度を確認してください。
- 使用しないときはチャンパーに真空を維持し、揮発性物質が存在する場合はチャンパーベークを実行してください。
- 高温段階では、より遅い昇温速度を実施してください。

モリブデンストリップヒーター	- モリブデンストリップヒーター - 製品を取り出す際に、モリブデンストリップの上に物を落とさないように注意してください。破損の原因となります。 - 低融点の鉄含有製品がモリブデンストリップに押発して付着しないようにしてください。時間の経過とともにストリップの溶解や破損につながる可能性があります。 - 製品を取り出す際は、両手または適切な工具でしっかりと保持してください。 - 製品の不純物含有量を厳密に管理してください。
ピラニゲージおよび電離真空計	- ピラニゲージの操作およびメンテナンス中は、電気機器の安全規制を遵守してください。 - 炉が真空状態にあるときにゲージチューブを無理に分解しないでください。 - ゲージを加圧しないでください（0.05Pa以上）。必要に応じて、ゲージの電源をオフにしてください。 - 腐食性ガス雰囲気への導入を避けてください。 - 真空計は乾燥空気または窒素で校正してください。他の雰囲気では測定誤差が生じる可能性があります。 - 大気圧下で電離真空計をオンにしないでください。破損の原因となります。 - 分解時にシール面と接触面をアセトンまたはアルコールで清掃し、再組み立て前に真空グリースを塗布してください。 - 初めて使用する場合、または使用期間後に、真空計とピラニゲージを一致させるためにゼロ点およびフルスケール校正を実行してください。
メカニカルポンプ	- ポンプキャピティの摩耗や真空への悪影響を防ぐため、ポンプ温度が45度を超えないようにしてください。 - オイル窓のオイルの色を定期的に監視してください。 - 真空ポンプ起動時の排気からのオイル飛散を確認し、油面を点検してください。 - 運転前および運転中にポンプ温度を測定し、冷却水温を監視してください。 3ヶ月ごとにオイルを交換してください（モデル：HFV-100）。 - 油面が高い場合は、ドレンバルブを開いて標準レベルまで下げてください。
ルーツポンプ	- ポンプキャピティ内の清浄度を維持してください。 - ポンプオイルの品質を監視してください。 - 適切なポンプ回転を確認してください。 - 炉チャンバーに高温の製品や大きな粒子を入れないでください。 - 拡散ポンプオイルが変色または乳化した場合、速やかに交換してください。 - ポンプに異常が発生した場合は、直ちに製造元に連絡してください。
拡散ポンプ	- オイル窓の拡散ポンプオイルの交換が必要かどうかを確認してください。 - 起動後のポンプ速度を監視してください。 - ポンプへの十分な冷却水供給を確認してください。 - 適切なモデル（HFV-3）の拡散ポンプオイルを交換してください。 - ヒーター温度、油面、ポンプコアの取り付けが正常であることを確認してください。 - ポンプ表面温度を10～35℃、湿度を65%未満に維持してください。
ウォータークーラー	- ウォータークーラーを操作する前に、マニュアルをよく読んでください。 - 給排水ポンプの回転方向を確認してください。 - 起動後、炉の給水圧が正しく表示されていることを確認してください。 - 効果的な放熱システムを確立してください。 - 水タンク内の水質を定期的に確認してください。 - 放熱システムを3～5ヶ月ごとに清掃してください。 - 設定温度を超えないようにしてください。例えば、設定温度が20℃の場合、21℃を下回らないようにしてください。設定値を21℃以上に調整してください。 - クーラーの設置場所の換気を確保してください。 - 時々サイドカバーを開け、希塩酸で希釈したもので内部の水タンクを清掃してください。